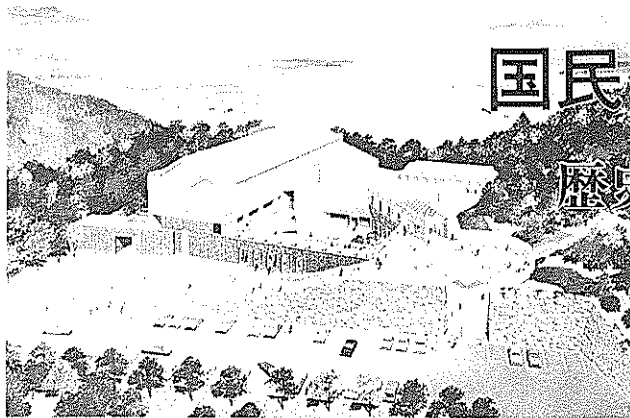




国民休暇県の拠点に 歴史民俗資料館の 建築工事始まる

県立歴史民俗資料館建設に向けて造成工事が行われていた岡豊山で、十一月十日に建築工事の安全祈願祭と起工式が行われ、知事をはじめ、県や市、地元、工事関係者ら約七十人が出席して工事の無事を祈願しました。

この資料館は、県が貴重な文化遺産を収集、展示し、資料を通じて郷土の歴史を理解して知識を深める場にしてもらおうと建設を進めているものです。敷地面積九〇〇〇平方メートル、延べ床面積四四七二平方メートルで地上三階建て、工事費は二十億三千九百五十万円。展示室

のほか、体験学習室や視聴覚コーナーも設け、利用者の多彩なニーズにこたえられるような施設を目指しています。

起工式では、知事が「青少年の学習の場となるとともに、国民休暇県構想の面からも旅行者に土佐のすべてがわかる場として、今後の県の発展の拠点となるように」と式辞を述べていました。

完成は昭和六十五年三月で、六十六年の春にはオープンする予定です。

南国インターチェンジ

対策協議会が解散

住民の意見調整や周辺整備事業の促進に大きく寄与してきた南国インターチェンジ対策協議会（大川邦昭会長、委員十二人）の総会が十一月十日に開かれ、協議会を解散することが決まりました。

この協議会は、四国横断自動車道南国インターチェンジの設置計画に伴い、地域に及ぼす影響に対

応じた周辺の整備計画などを策定、実施するとともに、地域住民の理解と協力を得て高速道路に関する事業の円滑な実施を促進するため

に、昭和五十三年に設立されました。以来、先進地の視察や県への陳情などを度々実施。騒音などの公害の防止や水路の改修などに力を尽くしてきました。

日ごろの取り組みの

成果を発表

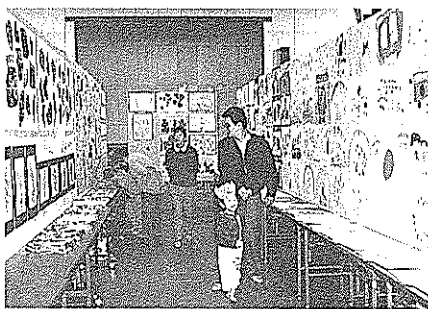
第二回集会所・識字学級文化祭

地域の文化、教養の向上を図り、部落解放への意欲を高めようと、第二回集会所・識字学級文化祭が十一月十二日と十三日の二日間にわたり、市立長岡西部体育館で開かれました。

これは、部落解放を目指して日ごろから取り組んでいる成果や課題を持ち寄って発表、提起する場にと、昨年に引き続いて行われたものです。

二回目は今年、集会所や保育所、学校なども加わり、識字学級

展示作品に見入る



十日の総会では、六十二年度の事業報告や決算書の承認などが行われた後、残事業が六十三年度で完了することを受けて、本年度で協議会を解散することを決定しました。

一日酔い



生の作品をはじめ児童の絵や書、生け花など約五百点が展示されました。

十二日には舞台で、映画、舞台を通じて部落解放運動を行っていた中西和久さんの一人芝居「火の玉のはなし」が公演されたほか、保育園児、子ども会による歌や踊りも披露されました。

また会場では、料理・茶道教室も開かれるなど多彩な催しが行われ、訪れた人を楽しませていました。